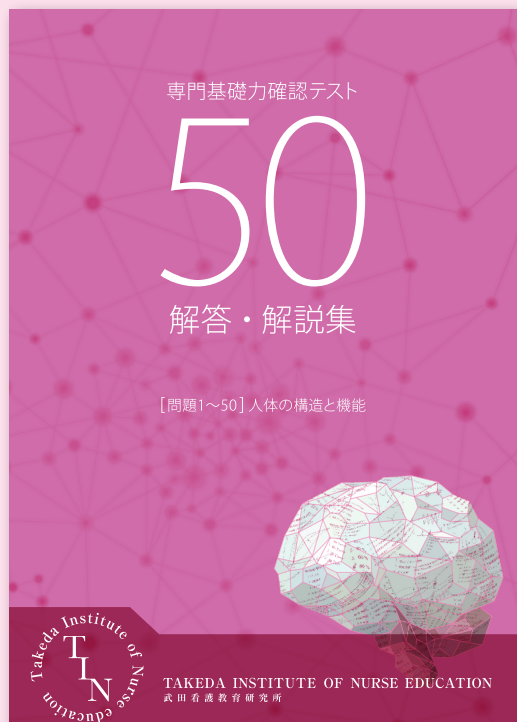


# 1. 専門基礎力確認テスト

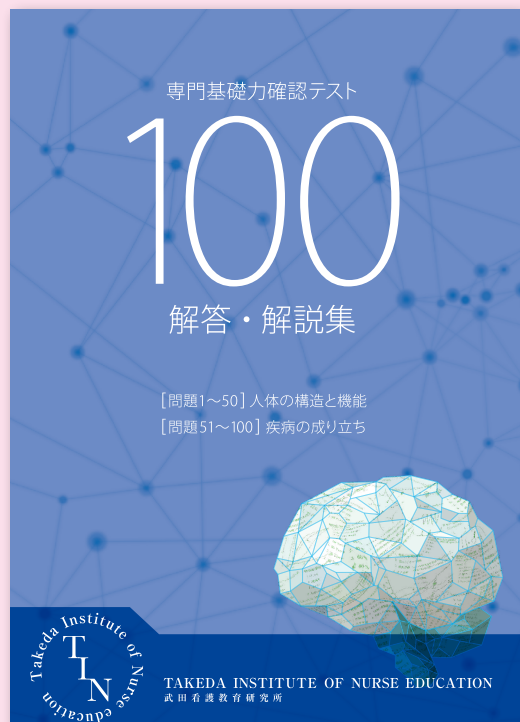


## ①低学年向け：50問版

試験時間 50分

(50点満点／人体の構造と機能)

※画像カラーは現物と異なります



## ②高学年向け：100問版

試験時間 100分

(100点満点／人体の構造と機能＋  
疾病の成り立ちと回復の促進)

苦手意識の強い科目、とりわけ専門基礎を重点的に学習するための教材です。

表現が難解で「ざっくり読むことさえ難しい」内容が濃厚な既存の解剖生理学の教科書と違い、初心者にもわかりやすい文章や図で構成されています。

## 低学年向けの50問版と、高学年向けの100問版をご用意！

(例) 50問版：専門学校1年次、大学1～2年次

100問版：専門学校2～3年次、大学3～4年次

こちらの確認テストには、「復習課題」と「再テスト」がセットになっています。

専門基礎知識の習熟度を個々の学生の現状に即して計画的に向上させることに役立ちます。

## <料金体系（学校単位申込み、1名様当たり）>

- 第7回 50問版 模試価格（模試本体＋復習課題・再テストセット）：¥1,300（税込 / 1名様当たり）
- 第7回 100問版 模試価格（模試本体＋復習課題・再テストセット）：¥1,800（税込 / 1名様当たり）

※確認テストは四択マークシート形式。マークシートご返却後、約1週間で個人成績処理を行い納品。

再テストは四択＋穴埋め形式の記述式。再テストの採点は、解答用紙のご返却後約2～3週間で採点。後に、確認テストと再テストの得点変化による分析を行います。

# 専門基礎力確認テストに含まれるセットのサンプル

## 1. 本試験問題サンプル

問題1. 遺伝について、正しいものはどれか。  
 1. 転写は核内で行われる。  
 2. DNAは3種類の塩基からなる。  
 3. 細胞質の分裂は有糸分裂である。  
 4. 核内でたんぱく質の合成が行われる。

問題2. 筋細胞膜を興奮させる物質はどれか。  
 1. カルシウムイオン  
 2. トロポニン  
 3. アドレナリン  
 4. アセチルコリン

最新の看護師国家試験の出題傾向に準拠した問題を作成  
**実践力が身につく!**

表や図を多用する事で知識の整理を促進

**分かりやすい！  
見やすい！**

## 2. 上記の問題に対応した解説書のサンプル

遺伝

問題1. 遺伝について、正しいものはどれか。

1. 転写は核内で行われる。
2. DNAは3種類の塩基からなる。
3. 細胞質の分裂は有糸分裂である。
4. 核内でたんぱく質の合成が行われる。

正解 / 1

DNAの遺伝情報は、核内で伝令RNA(mRNA)に転写されて細胞質に移動する。細胞質では運搬RNA(tRNA)が特定のアミノ酸をリボソームへ運ぶ。リボソーム上でアミノ酸が結合されてたんぱく質の合成が行われる。たんぱく質の合成を導く過程を翻訳という。

1. ○ 正しい。
2. × A(アデニン)、G(グアニン)、C(シトシン)、T(チミン)の4種類の塩基からなる。
3. × 核の分裂が有糸分裂である。染色体・紡錘体などの糸状構造が形成されて分裂する。それに引き続いて細胞質分裂が起こり、細胞が2つに分かれる。
4. × たんぱく質の合成はリボソーム上で行われる。

## 3. 復習課題のサンプル

- DNAの遺伝情報は、核内で伝令RNA(mRNA)に( )されて細胞質に移動する。細胞質では運搬RNA(tRNA)が特定の( )をリボソームへ運ぶ。たんぱく質の合成を導く過程を( )という。DNAを構成する塩基には( )( )( )( )の4種類がある。
- 筋内運動の指令を伝達する物質は( )であり、筋収縮には( )イオンが必要となる。
- 睡眠に関与するホルモンは( )であり、神経伝達物質の1つである( )から合成される。

復習問題は全問題に対応した穴埋め形式  
**解説書を読み返す必要があるため、  
しっかり復習できる!**

再テスト問題は4択問題と穴埋め記述式で構成  
**再テスト実施が自己学習への動機づけになる!**

## 4. 再テストのサンプル

### ●4択問題

問題1. 筋細胞膜を興奮させる物質はどれか。

1. カルシウムイオン
2. トロポニン
3. アドレナリン
4. アセチルコリン

### ●穴埋め問題

以下の空欄に正しい語句を入れて文章を完成させましょう。

- DNAの遺伝情報は、核内で伝令RNA(mRNA)に(1)されて細胞質に移動する。細胞質では運搬RNA(tRNA)が特定の(2)をリボソームへ運ぶ。たんぱく質の合成を導く過程を(3)という。

## 「下級生用 国家試験支援計画の一例 2年生」

- 7月23日..... 専門基礎力確認テスト100問版の受験終了後、解説集と復習課題を配布する  
 夏季休暇..... 復習課題を**夏季休暇中の課題**にする  
 8月1日頃..... 弊社より7月23日実施分の成績返却  
 9月5日..... 再テスト実施  
 9月20日頃..... 再テストの成績返却 → 確認テストと再テストの得点を比較した分析結果を確認する

## 【分析例】

- パターン1 本模試も再テストも点数が良い : **自己学習に全く問題なし**
- パターン2 本模試より再テストの点数が悪い : **暗記に頼っているため専門用語の定着が悪い**  
 (= **最終学年で、模試の成績は不振となる可能性が高い**)
- パターン3 本模試も再テストも点数が悪い : **自己学習を行っていない**  
 (= **学習習慣が身につけていない**)
- パターン4 本模試より再テストの点数が向上 : **きちんと自己学習を行っている**  
 (= **学年が進むにしたがい、成績は向上する可能性が高い**)

※上記分析結果により、低学年のうちから重点的に指導を行う必要のある対象者をパターン2及びパターン3の学生へ絞り込むことができるため、**非常に効率的な指導が可能となります!**